

水稲用初・中期一発処理除草剤

ブルゼータ[®]

1キロ粒剤

向かう所、敵無し。

無人航空機散布
が可能
(移植水稲・直播水稲)

プロピリスルフロン
ベンゾピシクロン
2成分

◆ 2成分の一発剤 ◆ 難防除雑草に優れた効果 ◆ 3剤型勢揃い



ノビエ



ホタルイ



クログワイ



オモダカ



コウキヤガラ



シズイ

ブルゼータ[®]1+0粒剤

- ◆2成分の一発剤 プロピリスルフロンの0.90%+ベンゾビシクロンの2.0%により優れた除草効果
- ◆難防除雑草に優れた効果 多年生雑草・SU抵抗性雑草に有効
- ◆3剤型勢揃い 使用者のニーズに合わせてご使用いただけます



適用と使用方法

2020年10月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植時	1kg/10a	2回以内	田植同時散布機で 施用
	エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミスガヤツリ	3葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
オモダカ	矢尻葉2葉期まで
クログワイ コウキヤガラ シズイ	草丈20cmまで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

■プロピリスルフロンの総使用回数：2回以内 ■ベンゾビシクロンの総使用回数：3回以内

上手な使い方〔散布量／10a当り1kg(1袋)〕

均平化作業・植付けはていねいに!	移植深度は適正に!	散布時の注意!	散布後の注意!
田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・葉害の原因になります。	極端な浅植では根が露出し葉害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。	散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。	散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。

使用上の注意事項(抜粋)

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するようご注意ください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用をさけてください。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付け作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ②専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - ③事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m離れた位置からほ場内に散布してください。
 - ⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用はさけてください。
 - ①砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植えの水田
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用をさしひかえてください。
- 本剤を使用した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 移植前に生育したミスガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- 前処理剤との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないように適期に散布してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもめまでは十分な効果を示さない場合がありますので、必要に応じて有効な前処理剤又は後処理剤と組み合わせ使用してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

02R10J20B105:ZS

2020年10月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

